

庁舎等複合施設建設事業の検証結果及び再開について

1 基本的な考え方

(1) 検証結果に基づく設計の見直し

ア 検証結果

検証結果に基づく設計の見直しについて、特に設計のやり直しが必要となる項目は、コスト（設計費用を含む。以下同じ。）、設計期間、機能面等への影響を考慮すると設計反映するだけの効果は見いだせなかった。

イ 設計の見直し（検証実施項目の設計反映の詳細については別紙のとおり）

① 建物に係る項目

検証結果から、建物に係る項目（「総免震化」、「外壁仕様変更」等）については、コスト、設計期間、機能面等への影響を考慮すると設計反映するだけの効果は見いだせなかったが、（仮称）新福社会館先行竣工に伴う課題解消のため、「新庁舎と（仮称）新福社会館の同時竣工」のみ反映したい。

② 建物以外の項目

市民からの関心の高い広場については、実施設計で面積拡大したところであるが、更なる拡大が可能か、設計の中で詳細検討したい。

③ 予算措置

①及び②の設計の見直しに関する予算については、市民説明会開催後の令和5年第4回定例会において必要な予算案を提出したい。

ウ 再開

以上の結論をもって事業を再開することとしたい。

(2) 令和5年第3回定例会での対応

可能な限り早期建設を目指すため、令和5年10月に、設計の見直し関連を除いた内容で実施設計委託契約を締結し、実施設計を再開したい。そのために必要な予算措置（今年度内に実施設計委託業務が完了しないため債務負担行為の設定が必要）を行うため、令和5年第3回定例会中に補正予算案を提出したい。

2 再開関連スケジュール

令和5年 9月 令和5年第3回定例会に補正予算案提出(債務負担行為の設定)

令和5年10月 実施設計委託契約締結後、実施設計再開

※実施設計委託契約内容(予定)

- ・契約期間 令和5年10月中旬～令和6年7月(約9か月)
- ・契約金額 31,784,500円
- ・主な業務内容 トイレ等の検討(設計の見直し関連を除く。)、再積算、各種申請

令和5年10～11月 市民説明会開催。「庁舎等複合施設建設事業の再開方針について」策定

令和5年12月 令和5年第4回定例会に報告又は提出を予定しているもの

- ・「庁舎等複合施設建設事業の再開方針について」
- ・必要に応じ補正予算案(設計の見直し関連の予算)

令和6年 1月 必要に応じ実施設計委託の契約変更(設計の見直し関連の契約変更)

検証実施項目の設計反映について

NO.	項目	設計のやり直し		大臣認定の取り直し		設計費用(概算)	工事費増減	設計費用(概算)と工事費増減の合計額	令和5年10月再開後の想定設計期間	機能面等への影響	設計反映 (○:反映、 ×非反映)
		必要	不要	必要	不要						
①	総耐震 + 地下駐車場廃止 + 立体駐車場	○			○	2.3億円	-3.7億円	-1.4億円	18か月	・ 庁舎、(仮称)新福祉会館ともに耐震構造になる。 ・ 敷地内のオープンスペースがなくなる。 ・ (仮称)新福祉会館が立体駐車場で隠れる。 ・ 1、2階の採光が悪化 ・ 広場面積減	×
②	総免震化	○			○	2.2億円	+3.0億円	+5.2億円	21か月	・ 庁舎、(仮称)新福祉会館ともに免震構造になる。	×
③	地下駐車場廃止 + 立体駐車場	○			○	1.7億円	+3.1億円	+4.8億円	21か月	・ 敷地内のオープンスペースがなくなる。 ・ (仮称)新福祉会館が立体駐車場で隠れる。 ・ 1、2階の採光が悪化 ・ 広場面積減	×
④	同時竣工時の影響		○		○	+0.1億円	-0.1億円	+0.0億円	10か月	・ (仮称)新福祉会館オープン時に庁舎が工事中であることによる課題(仮称)新福祉会館利用者への騒音・振動、安全上のリスク)が解消される。 ・ (仮称)新福祉会館と庁舎工事エリアを隔てる仮設壁の設置・撤去が不要となる(※仮設壁撤去工事時には、多目的室や親子あそびひろばの利用を最長1か月程度休止する可能性有り)。	○
⑤	外壁仕様変更 (北面カーテンウォールからアルミサッシへ変更)		○		○	+0.5億円	-0.1億円	+0.4億円	15か月	・ 省エネ計算再計算が必要 ・ 北面外壁の工種が増える(工事の手間、順序、調整の増加)。 ・ 鉄骨下地工事の増 ・ 外観の透明感の減衰 ・ 執務室が暗くなる。 ・ 断熱性が向上する。	×
⑥	庁舎西側階段(1~2階)の削減		○		○	+0.4億円	-0.1億円	+0.3億円	13か月	・ 2階の床面積が増える。 ・ 省エネ計算再計算が必要 ・ 1、2階の利便性低下	×
⑦	議場の上部カット		○		○	+0.5億円	-0.1億円	+0.4億円	18か月	・ 議場の天井高が低くなる。	×
⑧	庁舎北面3階以上段状形状見直し	○			○	2.1億円	-2.7億円	-0.6億円	21か月	・ 4階以上の延床面積減(574㎡減) ・ 外観上のランドマーク性が減衰	×
⑨-1	広場の再検討 (地上駐車場縮小+立体駐車場)		○		○	+0.3億円	+4.5億円	+4.8億円	13か月	・ 広場面積増(935㎡) ・ 敷地内のオープンスペースがなくなる。 ・ 福祉会館が立体駐車場で隠れる。 ・ 1、2階の採光が悪化	○ ※広場面積増を目指す が、駐車場台数及び駐輪場台数との兼ね合いなど 詳細検討が必要である ことから、具体的な方法は 実施設計の中で別途検討
⑨-2	広場の再検討 (地上駐車場縮小その1)		○		○	+0.3億円	-0.0億円	+0.3億円	13か月	・ 広場面積増(1,300㎡) ・ 駐車台数 19台減	
⑨-3	広場の再検討 (地上駐車場縮小その2)		○		○	+0.3億円	-0.0億円	+0.3億円	13か月	・ 広場面積増(1,590㎡) ・ 駐車台数 26台減	
⑨-4	広場の再検討 (駐輪場縮小その1)		○		○	+0.3億円	-0.2億円	+0.1億円	13か月	・ 広場面積増(1,400㎡) ・ 西側出入口が交差点に近くなる(警察との協議が必要となり、実現できない可能性がある。) ・ 駐輪場台数が西側48台の場合、137台減。西側100台の場合、85台減	
⑨-5	広場の再検討 (駐輪場縮小その2)		○		○	+0.3億円	-0.2億円	+0.1億円	13か月	・ 広場面積増(942㎡) ・ 地上駐車場出入口と、地下駐車場の車両出入口が近接し、安全上の課題がある。 ・ 駐輪場台数が西側48台の場合、137台減。西側100台の場合、85台減	

※ 「令和5年10月再開後の想定設計期間」…「設計のやり直しが必要な項目=当該項目の設計期間+3か月(R5.10~12)」、「設計のやり直しが不要な項目=当該項目の設計期間+9か月(当初予定していた再開後設計期間)」により算出

※ 「着工時期の変更(清掃関連施設除去後着工)」については、実施設計再開時に別途検討予定